

戸田市消防署東部分署建て替え基本計画 【要約版】

1 基本計画策定の目的

東部分署は昭和48年に建築され、建築から約50年経過し老朽化が進むとともに消防需要に対応するため、車両・設備等を増やし狭隘化が著しい状況となっています。また、昨今の異常気象等による災害対応、行政機能の重要性や、人口減少社会における公共施設の最適配置等の観点から庁舎としての消防活動拠点機能を強化します。本基本計画では新庁舎に求められる性能や水準、機能、規模・空間構成の方針及び事業計画について、今後の設計や工事を進める上での基本的な考え方を定めるものです。これらの考え方を踏まえた上で、今後の基本・実施設計においてより詳細な検討を進めていくこととなります。

■現状と課題

<p>庁舎の老朽化・狭隘化</p> <p>老朽化が進み各所で劣化が見受けられます。また、近年の消防需要に対応するため狭隘化も著しい状況です。</p>  <p>【庁舎正面】 【車庫内天井】</p>	<p>消防力の強化</p> <p>敷地は集合住宅に挟まれ訓練中の声や車両の騒音等は周辺に配慮する必要があります。また、屋内トレーニング室は十分な広さを確保出来ていません。</p>  <p>【現状の周辺状況】 【トレーニング室】</p>
<p>安心の119番受信体制の整備</p> <p>現在、本署には非常用電源設備が設置されていますが、近年の激甚化する水害に対応するため電源設備の強化や指令センターは導入から11年が経過する令和7年度末を目途に更新が必要です。</p>  <p>【非常用発電設備】本署設置 【指令センター】</p>	<p>緊急体制の維持</p> <p>新型コロナウイルスの流行により、救急体制の維持はこれまで以上に重要となります。仮眠室の個室化等施設内の各種感染症対策の強化が課題となります。</p> <p>【施設内感染症対策イメージ】</p>  <p>仮眠室の個室化 室外 室内</p>

■整備の経緯

戸田消防としては、以前から抱えている課題である「庁舎の老朽化・狭隘化」・「消防力の強化」に加え、新たに抱える課題である「安心の119番受信体制の整備」・「緊急体制の維持」を含めた課題について総合的に解決を図るためには、個々に投資をして改修等を行うことは、コスト面や将来的な施設管理面からも最適ではなく、最良の方法として東部分署を建て替え、同時に指令センター機能を移設することが最良であるとの結論に至りました。なお、新たな計画地の取得は困難であることから、本計画では既存敷地の中で現在の東部分署の業務を継続しながら建て替えの検討を行うこととしました。

■整備の基本方針

1.消防活動拠点としての庁舎

- ・災害等有事の際に備え、建築物の耐震改修の促進に関する法律や国の官庁施設の総合耐震計画基準に基づきながら、大地震動に対して新庁舎が持つべき耐震安全性の確保を図ります。今後の基本設計を踏まえ最適な構造選定を検討していきます。
- ・災害時に庁舎機能及び通信指令センター機能を維持し、災害対応機能を十分に発揮できるよう、非常時でも電力、水等のライフラインの適切な確保が行え、自立できる計画とします。
- ・庁舎のバックアップ電源、熱源は、「庁舎の機能維持」「災害対策活動に必要な負荷」等負荷のグループ分け、優先度を整理し、各々の負荷設定を行います。消防活動拠点として確実に機能する負荷設定と過剰なバックアップ設備への投資の抑制を協議により進めます。

2.業務効率の良い庁舎

- ・各課や職員間のコミュニケーションが図りやすい効率的、効果的な執務空間とするよう関連した部署をフロアごとに配置します。
- ・執務室は適切な規模の空間とし、活用効率の良い配置にします。
- ・個人情報や行政情報の保護、防犯対策等の空間的・動線的に十分なセキュリティ対策を講じます。
- ・消防力を強化するための訓練設備を検討します。
- ・各種感染症対策を講ずるための設備を検討します。

3.市民に親しまれる庁舎

- ・外観は地域の街並みに調和し、北・南側の集合住宅に配慮した庁舎とします。
- ・来庁者にわかりやすい動線計画や、ユニバーサルデザインの採用により、親しまれる庁舎とします。
- ・市民向け講習会を実施できる設備を検討します。

4.環境にやさしく経済性に優れた庁舎

- ・断熱、日射遮蔽、自然通風利用、昼光利用といった建築的な手法を最大限に活用しつつ、建築設備を効率化することで、省エネルギー化を図ります。
- ・LED照明・太陽光発電設備・人感センサーによる点灯システム・調光システム等の採用を検討し、消費電力の削減を図ります。
- ・内装材として利用する仕上材は、木材やエコマテリアル（環境負荷の少ない素材）の使用を検討します。
- ・空調設備はランニングコストの軽減、快適な執務環境に配慮し、高効率空調機を採用した全体空調と個別空調の最適なバランスを検討していきます。
- ・換気設備は全熱交換機の全面採用や中間期には、積極的な自然換気が確保できる計画とします。
- ・給排水設備は節水型衛生機器の採用や雨水再利用等を検討し、災害時の利用にも配慮できる水使用量の削減に努めた計画を行います。

2 事業スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基本計画	→				
基本設計	→				
実施設計		→			
車庫解体・新庁舎工事・旧庁舎解体			→	→	→
工事監理業務			→	→	
地盤変動影響調査業務		→	→		→
供用開始					●

3 整備機能・規模の検討

現在の課題や将来の需要を考慮して必要機能について整理を行いました。新庁舎の機能向上等を総合的に反映した結果として全体床面積は2,600㎡程度を想定しています。今後、次の段階である基本設計時に、より詳細な各諸室の必要面積の検証と精査を行い適正な規模の必要面積を確保します。

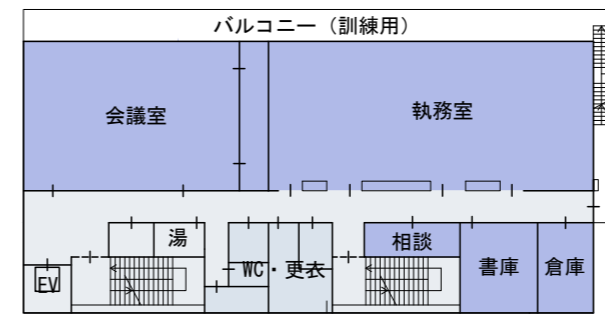
棟	階	室名	棟	階	室名
庁舎棟	1	玄関	庁舎棟	5	通信指令室☆、大会議室☆、サーバー室☆、倉庫
		車庫			指令仮眠室(男女)☆
		出勤準備室☆			洗面・脱衣・洗濯室(女)☆
		空気充填室、乾燥室☆、消毒室☆、洗浄室☆			トレーニング室
		資機材保管庫、薬品庫、油庫			給湯室、物品庫、トイレ
		シャワー室(男女)、ゴミ庫、トイレ			
	2	倉庫	訓練棟A棟	-	既存のまま
		執務室、相談室☆	訓練棟B棟	-	既存のまま
	3	会議室☆、会議倉庫☆、倉庫、書庫	自転車置場	-	20台
		更衣室(男女)、給湯室、物品庫、トイレ	バイク置場	-	10台
	4	仮眠室(男女)、休憩室、食堂、厨房	駐車場	-	6台(内連絡車用1台、身障者用1台)
洗面・脱衣・洗濯室(男女)、リネン室☆		消防団詰所	-	既存のまま	
清掃員控室☆、物品庫、トイレ		防火水槽	-	40t	
		外構	-	放水壁	

※室名に【☆】の記載のあるものは本計画により新たに整備されるものです。

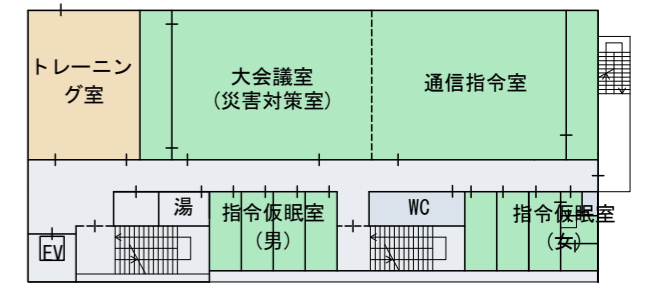
■平面計画(イメージ)

諸元表による必要諸室を元に平面計画(ゾーニング)のイメージを作成しました。1階は来客用エントランスと車庫関係諸室、2階は倉庫、3階は執務室エリア、4階は仮眠・休憩エリア、5階は指令センターとしています。来客、職員、出動動線をそれぞれ分けて、使い勝手が良く日常的な訓練や緊急出動に利便性のある庁舎とします。

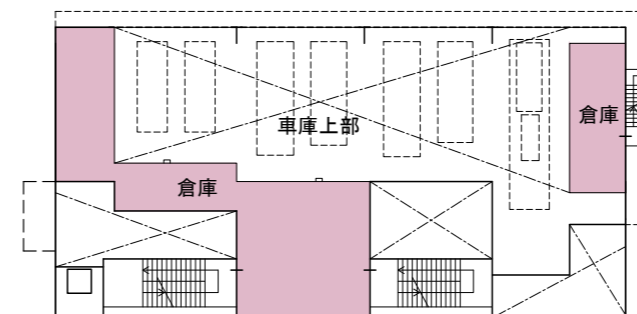
※具体的な間取りはイメージを表しており、基本設計にて詳細を検討します。



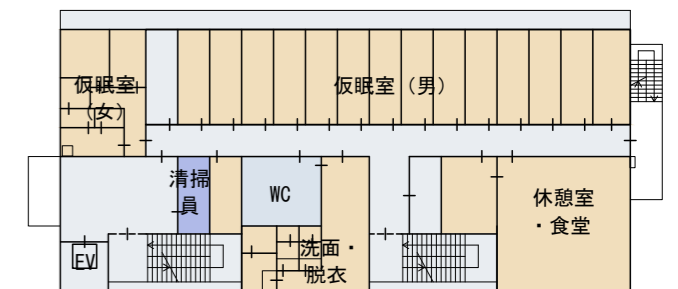
3階平面図



5階平面図



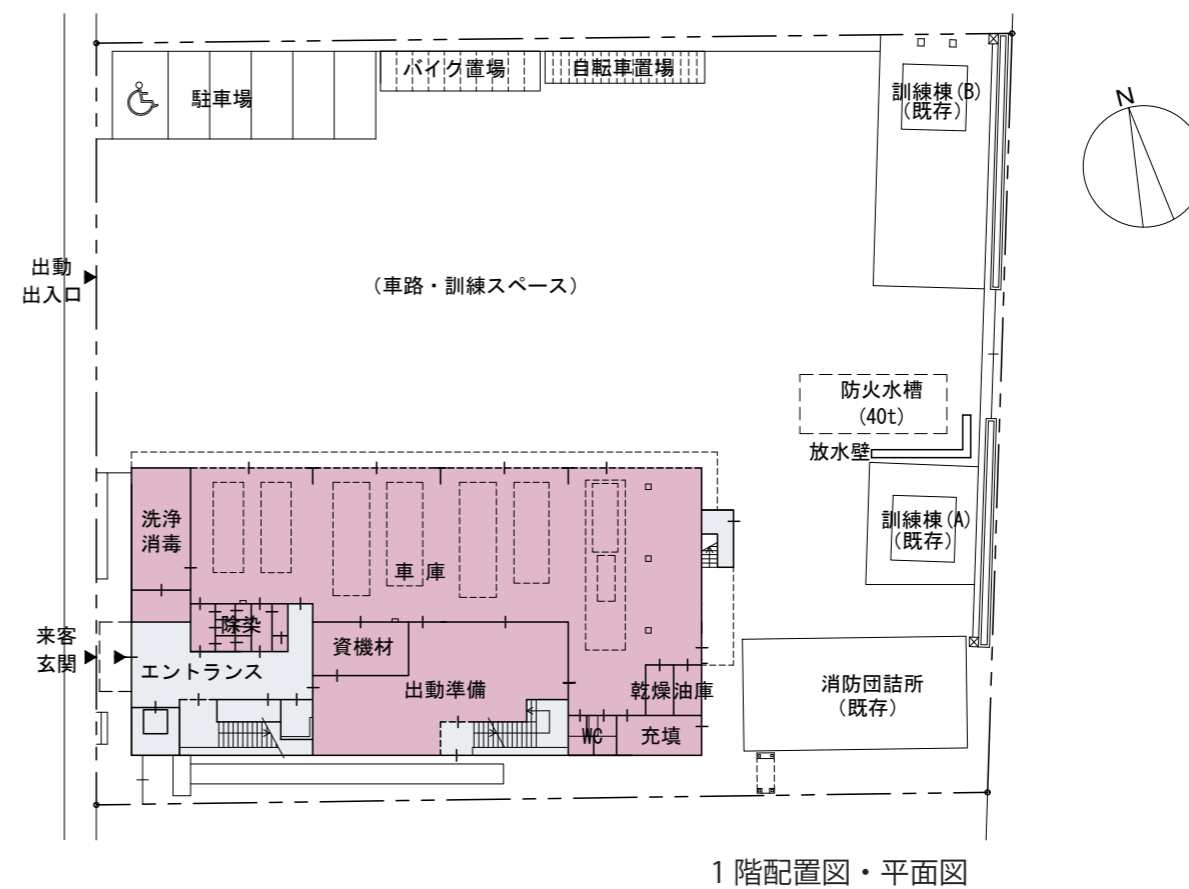
2階平面図



4階平面図

4 建物・施設配置の検討

	A案	B案	C案	D案
配置図				
整備手順	・既存車庫を解体 ・既存車庫の跡地に庁舎建設(1期工事) ・新庁舎引越しの上、既存庁舎を解体 ・既存庁舎の跡地に庁舎増設(2期工事) ・外構整備	・仮庁舎を建設 ・仮庁舎引越しの上、既存庁舎・車庫を解体 ・既存庁舎・車庫の跡地に庁舎建設 ・新庁舎引越しの上、仮庁舎を解体 ・外構整備	・既存車庫を解体 ・既存車庫の跡地に庁舎建設 ・新庁舎引越しの上、既存庁舎を解体 ・外構整備	A案と同じ
出動動線	● 西側前面道路に直行 ○ まとまったスペースを確保	● 西側前面道路に直行 ○ まとまったスペースを確保	○ 西側前面道路に左折 ● まとまったスペースを確保	● 西側前面道路に直行 ○ 東西に分かれる
来庁	● 西側前面道路に玄関	● 西側前面道路に玄関(工事中は東)	● 西側前面道路に玄関	● 西側前面道路に玄関
周辺環境	○ 南北(集合住宅側)に居室	○ 東西(道路側)に居室	○ 南北(集合住宅側)に居室	○ 東西(道路側)に居室
居室環境	○ 北側に執務室、南側に仮眠室	○ 東西側に執務室、仮眠室	○ 北側に執務室、南側に仮眠室	○ 西側に執務室、東側に仮眠室
工事期間	○ 工事期間がタイト 指令室移転: 令和7年度中旬	○ 工事期間が比較的余裕あり 指令室移転: 令和7年度下旬	○ 工事期間が比較的余裕あり 指令室移転: 令和7年度下旬	○ 工事期間がタイト 指令室移転: 令和7年度中旬
使用27	○ 工事エリア外を利用	△ 工事エリア外が狭小(東西が分断) 出動・来庁動線が東側道路	○ 工事エリア外を利用	△ 一部工事エリア外が狭小(東西が分断)
メリット	仮庁舎が不要	将来的な使い勝手がよい 工事期間が比較的余裕あり	仮庁舎が不要 工事期間が比較的余裕あり	仮庁舎が不要
デメリット	工事期間がタイト	コストが割高 工事中の使い勝手が比較的良好	左折しての出動動線	工事期間がタイト 工事中の使い勝手が比較的良好
総合評価	○	△	◎	○



1階配置図・平面図

上記比較より、建物レイアウトは総合的に本計画に最も適すると考えられるC案で検討を行います。